

ドードレブスカ・ポルカ

DOUDLEBSKA POLKA

(チェコ)

この踊りは、はるか昔から伝承されているカラマイカやチャルダシュと肩をならべるほどのものではなくて、チェコのどこかの村で見た踊りを少し作り変えて、自分達の曲調にあてはめたものである。ドードレブスカは「ダブル」の意で **Double Clap** に因んでいる。

チェコの **Jeannet Novak** 氏がアメリカに紹介し、日本にはマイケル・ハーマン氏一行が紹介したが、本国の踊り方に比べて若干の相違があると言われている。しかし、アメリカ伝来の踊り方が普及した現状を重んじて、ここにはそれを解説する。隊形の多彩な変化とプレイパーティー的な要素を多分に持っているので、雰囲気盛り上げに最適な踊りである。

◆音楽 2/4 拍子。前奏 8 呼間。1 回の踊り 96 呼間。全曲で 4 回踊れる。

◆隊形 下記のいずれでもよい。

①カップルで会場内に自由に散在する。

②小さなダブル・サークルをいくつかつくる。

③1 つの大きなダブル・サークルをつくる。

◆ステップ ポルカ・ステップ、ポルカ・ターン、ウォーキング・ステップ（ウォーク）。

◆踊り方

I. ポルカ・ターン

パートナーとクローズド・ポジションに組み、ポルカ・ステップ 16 回で CW に回転しながら、自由な方向へ進む [ア, 1, ト~32]。……………32 呼間

II. 行進（マーチ）

パートナーとセミ・オープン・ポジション（クローズド・ポジションを開いて女子が右側となる。外側のフリー・ハンドは各人の自由）になり、「ラーラーララ……………」と歌いながら左へ左へとまわるように歩いて、他のカップルに後ろから接近し、男子は前の男子の左肩に左手を乗せてつながり、次第にサークルをつくっていく。左にまわるのが急速ならば小さなサークル、緩慢ならば大きなサークルになる。最後にすばやくセミ・オープン・ポジションを解いて、男子はそのサークルの円内を向き、女子は右まわりしてサークル外に位置する [1~32]。……………32 呼間

III. 男子は拍手、女子はサークル外まわり

男子は曲に合わせて手をたたく。まず各自拍手 2 回 [1, ト]、次に両隣の人と肩の高さで手を打ち合わせる [2]。男子は以上の動作をくりかえすが [3, ト~32]、女子は両手を腰にとり、男子のサークルの周囲を逆 LOD へポルカ・ステップ 16 回でまわる。最後に近くの男女でクローズド・ポジションに組む [ア, 1, ト~32]。……………32 呼間

以上をくりかえす。

◆留意点

- 1) ポルカ・ステップが無理ならば、スキップまたはツーステップにかえてもよい。Ⅰのカップル・ターンが無理ならば、プロムナード・ポジションで前進してもよい。ポルカ・ターンの際、チェコのポルカは重々しく踊られるから、あまり跳びはねないこと。
- 2) パートナーがいなかった男子はⅡの間にどこにでも入ってよい。Ⅲに移る直前に男子は女子をスピンさせてはいけない。
- 3) Ⅲのとき今までパートナーのいなかった女子は女子の列に入ってよいし、また女子は他のサークルにまぎれこんでもよい。Ⅲの最後に近くで相手を得られない場合は、男女とも片手をあげて、Ⅰの途中になってもよいから、相手を探してカップルになる。